

プロテスタントから見た北アイルランド問題

報告者：木村岳史さん (M2)

第3回目を迎えた院生研究会は、M2の木村岳史さんが準備中の修士論文の概要を報告した。北アイルランド問題といえば、門外漢には、北アイルランドのアイランド共和国への編入を志向する「ナショナリスト」(カトリック)と、その英国への残留を志向する「ユニオニスト」(プロテスタント)の対立と理解されるのが一般的であろう。だが、木村さんは、こうした単純な見方を排し、現地の実情に即し、じつは複雑に込み入ったアクターたちの関係を丁寧に解き明かしていく。



本報告を通じ、北アイルランドが、依然として様々な問題を抱えていることを理解することができた。こうした複雑な歴史的・文化的背景を持つ北アイルランドの問題にも大胆に切り込み、私たちの視界を大いに広げてくれそうな予感のする、木村さんの報告であった。

ところで、3回目を迎えた今回の院生研究会では、最多の参加者数を数えるに至った。そして、それぞれの参加者は、木村さんの落ち着いた報告に多くを学びつつ、それが刺激となって自身の修士論文の構想に着想を得ているようであった。それこそが、院生研究会の醍醐味であるといえよう。次なる報告者の登場を大いに期待して、前期の研究会は終了した。

立命館大学国際関係研究科では、大学院生の研究会を開催しております。各自の研究テーマをご自由にご報告していただき、院生仲間や先生方、ポスドク研究員から有意義なアドバイスを得ることができます。この機会をぜひご活用下さい。

★院生研究会で報告するメリットは？

- ・自分のテーマで、気軽に報告できる。
- ・論文執筆に煮詰まった時に、ブレイクスルーにつながる着想が得られる。
- ・学会報告の予行演習になる。
- ・院生仲間や、先生方、ポスドク研究員から様々なコメントがもらえる。 etc.